

I 次の文章は、地球上の火山について述べたものである。この文章を読んで、以下の問1～問10に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

地球上の火山の多くは、プレート境界に沿って分布している。海洋プレートが生産されて拡大している境界には（ア）の地形が見られ、それに沿って火山が分布している。また、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む境界は環太平洋地域を中心に分布しており、そこには（イ）という特徴的な地形が認められる。沈み込まれている大陸プレート側には、日本列島のような（ウ）や、（エ）のような大陸縁辺部の山脈が形成されており、これらに沿って活動的な火山列が見られる。この他に、大陸プレート上で、プレートの拡大境界ともみなされる（オ）に沿って分布するキリマンジャロなどの火山群もある。

一方、プレート境界ではない場所に分布する火山としては、（カ）の上のハワイ諸島が典型的な例である。（1）ハワイ諸島およびその北西側に連なる海山群の形成年代の分布には明瞭な特徴があり、その理由はホットスポットの存在によって説明されている。

火山の噴火様式や形態は、地下のマグマの性質によって異なる。粘性が低い玄武岩質のマグマは流れやすいために、大規模な噴火や大きな火山災害に至ることは少ない。これに対して、粘性の高い安山岩質などのマグマは流動しにくいため、爆発的な噴火によって大きな被害につながる場合がある。流動性に富む玄武岩質マグマの活動が継続して形成された火山は、溶岩流が広範囲に分布して傾斜の緩やかな山体を持つことから、（キ）と呼ばれる。その例として、ハワイ島の活火山である（ク）や（ケ）などがあげられる。一方、より粘性の高いマグマ起源の火山は、溶岩や火山砕屑物が重なって円錐形の山体を持つ（コ）となることが多い。

歴史上、世界では多くの火山災害が記録されているが、その実態は多様である。火山災害の頻度が高い地域として、タンボラ山、クラカタウ島、アグン山などの火山が分布する（サ）があげられる。（サ）は（イ）に沿って分布する島々から成り、そこには多くの活動的な火山が見られる。日本において歴史上記録されている中で最も死者が多かったのは、江戸時代（1792年）の（シ）の噴火であるが、（シ）は平成になってからも活動して、1991年には（2）火砕流の発生によって大きな被害をもたらした。

問1 （ア）、（イ）、（ウ）にあてはまる最も適切な用語を、以下の中からそれぞれ1つずつ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 海溝 | 2. 海嶺 | 3. 褶曲山脈 | 4. 大洋底 |
| 5. 多島海 | 6. 地溝 | 7. 島弧 | 8. 陸繋島 |

問2 （エ）にあてはまる最も適切な用語を、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. アトラス山脈 | 2. アパラチア山脈 | 3. アルタイ山脈 |
| 4. アルプス山脈 | 5. アンデス山脈 | |

問3 (オ) にあてはまる最も適切な用語を、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|---------------|----------|----------|
| 1. アフリカ大地溝帯 | 2. コンゴ盆地 | 3. サハラ砂漠 |
| 4. ドラケンスバーグ山脈 | 5. ナイル川 | |

問4 (カ) にあてはまる最も適切な用語を、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|--------------|---------------|------------|
| 1. 北アメリカプレート | 2. ココスプレート | 3. 太平洋プレート |
| 4. ナスカプレート | 5. フィリピン海プレート | |

問5 下線(1)に関連して、ホットスポットによるハワイ諸島の年代分布についての説明として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. (カ) の下に固定されているホットスポットからマグマが供給されて火山島が形成されていったが、(カ) が南東の向きに動いているために、北西から南東に向かうにつれて火山の年代が古くなるという特徴が見られる。
2. (カ) の下に固定されているホットスポットからマグマが供給されて火山島が形成されていったが、(カ) が北西の向きに動いているために、北西から南東に向かうにつれて火山の年代が新しくなるという特徴が見られる。
3. 固定されている (カ) の下に存在するホットスポットからマグマが供給されて火山島が形成されていったが、ホットスポットが南東の向きに動いているために、北西から南東に向かうにつれて火山の年代が新しくなるという特徴が見られる。
4. 固定されている (カ) の下に存在するホットスポットからマグマが供給されて火山島が形成されていったが、ホットスポットが北西の向きに動いているために、北西から南東に向かうにつれて火山の年代が古くなるという特徴が見られる。

問6 (キ) と (コ) にあてはまる最も適切な用語を、以下の中からそれぞれ1つずつ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. 海底火山 | 2. 成層火山 | 3. 側火山 |
| 4. 楯状火山 | 5. 単成火山 | |

問7 (ク) と (ケ) にあてはまる適切な用語を、以下の中から2つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。(順不同)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. カアラ山 | 2. カワイキニ山 | 3. キラウエア山 |
| 4. ハレアカラ山 | 5. マウナロア山 | |

問8 (サ) にあてはまる最も適切な用語を、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| 1. インドネシア | 2. ニュージーランド | 3. 東ティモール |
| 4. パプアニューギニア | 5. フィリピン | |

問9 (シ) にあてはまる最も適切な用語を、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|--------|--------|-------|
| 1. 浅間山 | 2. 有珠山 | 3. 雲仙 |
| 4. 桜島 | 5. 富士山 | |

問10 下線(2)に関連して、火砕流についての記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. 火砕流は、高温状態の溶岩が流下する現象である。
2. 火砕流は、火山噴出物が水と共に流下する現象である。
3. 火砕流は、火山噴出物が火山ガスと共に流下する現象である。
4. 火砕流は、溶岩の破片などが大量に降下する現象である。
5. 火砕流は、大量の火山灰が降下する現象である。

Ⅱ 次の文章は、オーストラリアについて述べたものである。この文章を読んで、以下の問11～問18に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

オーストラリアは、⁽¹⁾ ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの島国とともに、オセアニア地域に位置する国である。

今日のオーストラリア内の州域は、イギリスによる植民地の設立と、その拡大や分離の歴史を通じて形成されてきた。1788年に植民地として初めに発足したのは（ア）である。その後、オーストラリア大陸とは（イ）によって隔てられていた（ウ）島に植民地政府が誕生する。また1850年代のゴールドラッシュとともに人口が急速に増えていくが、それと同時期に（エ）、（オ）の植民地が（ア）から分離することとなる。その他の（カ）、（キ）とともに、これら6つの植民地は、1901年にオーストラリア連邦政府の成立にともなって州となる。さらに、これら6つの州に加え、1978年にはノーザンテリトリーが連邦政府から準州として認められ自治権を得ている。

（ア）の州都である（ク）はオーストラリア最初の都市として知られるが、今日でも同国の経済や文化の中心である。（イ）に面する（エ）の州都（ケ）も、また同国を代表する港湾都市である。一方、⁽²⁾ （コ）はちょうど（ク）と（ケ）の中間に位置し、特別区として政治的機能の中心を担っている。

（オ）州は気候条件に恵まれており、その州都（サ）の近くにあるゴールドコースト等のリゾートの立地などから近年人口増加が顕著である。（カ）の州都（シ）と、（キ）の州都（ス）はいずれも人口規模100万（都市圏）の工業都市であるが、大陸南西部に立地する（シ）は（ク）を始点とする大陸横断鉄道の終点となっている。ノーザンテリトリーの州都ダーウィンは（セ）に面する港湾都市として交通の要地であるが、食品工業も発達している。

オーストラリアの経済は、イギリスの産業革命の進展とともに、その原料供給地や市場として発展してきた。しかし、第2次大戦以降の⁽³⁾ イギリス経済の世界的地位低下にともない、他の諸国との経済的結びつきを次第に強めている。

経済面での変化と同様に、文化的な政策においても変化が現れている。特に、1970年代まで続いた白豪主義政策の廃止以降、オーストラリアはアジアやヨーロッパ諸国などを中心に、⁽⁴⁾ 世界中からの多数の移民を受け入れており、多民族的な民族や文化を基盤とする社会をどのように実現していくかが大きな課題となっている。

問11 下線（1）に関連して、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアのそれぞれに位置する島の名称の組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。ただし島名の順序は、ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアの順に対応するものとする。

- | | | |
|---------------|------------|-----------|
| 1. グアム島, | タヒチ島, | ニューカレドニア島 |
| 2. グアム島, | ニューカレドニア島, | タヒチ島 |
| 3. タヒチ島, | グアム島, | ニューカレドニア島 |
| 4. タヒチ島, | ニューカレドニア島, | グアム島 |
| 5. ニューカレドニア島, | グアム島, | タヒチ島 |
| 6. ニューカレドニア島, | タヒチ島, | グアム島 |

問12 (ア) と (ウ) ～ (キ) にはオーストラリアの州の名称(州になる前は植民地の名称)があてはまるが、それぞれ最も適切なものを、以下の中から1つずつ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| 1. ウェスタンオーストラリア | 2. ヴィクトリア | 3. クインズランド |
| 4. サウスオーストラリア | 5. タスマニア | 6. ニューサウスウェールズ |

問13 (イ) にあてはまる海峡の名称として最も適切なものを、以下の中から1つを選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. クック海峡 | 2. トレス海峡 | 3. パス海峡 |
| 4. フォーヴォー海峡 | 5. マゼラン海峡 | 6. マラッカ海峡 |

問14 (ク) ～ (ス) にあてはまるオーストラリアの都市の名称として最も適切なものを、以下の中からそれぞれ1つずつ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. アデレード | 2. キャンベラ | 3. ケアンズ |
| 4. シドニー | 5. パース | 6. ブ리즈ベン |
| 7. ホバート | 8. メルボルン | |

問15 下線(2)に関連して、(ク) ～ (コ) の都市の人口規模の順序として最も適切なものを、以下の中から1つを選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。ただし都市の順序は、人口規模の大きなものから並べたものとする。

1. (ク), (ケ), (コ)
2. (ク), (コ), (ケ)
3. (ケ), (ク), (コ)
4. (ケ), (コ), (ク)
5. (コ), (ク), (ケ)
6. (コ), (ケ), (ク)

問16 (セ) にあてはまる海域の名称として最も適切なものを、以下の中から1つを選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. コーラル海 | 2. セレベス海 | 3. ソロモン海 |
| 4. タスマン海 | 5. ティモール海 | 6. バンダ海 |

問17 下線（3）に関連して、オーストラリアの2003年の輸出相手国として輸出額の大きさから上位5カ国を挙げた場合、その国名の組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。ただし、5カ国内の順序は問わないものとする。

1. アメリカ, イギリス, カナダ, 中国, 日本
2. アメリカ, イギリス, カナダ, 中国, ニュージーランド
3. アメリカ, イギリス, カナダ, 日本, ニュージーランド
4. アメリカ, カナダ, 韓国, 日本, ニュージーランド
5. アメリカ, 韓国, 中国, 日本, ニュージーランド
6. イギリス, カナダ, 韓国, 中国, 日本

問18 下線（4）に関連して、オーストラリアの人口は多数の移民も含んで構成されているが、これに関する記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。ただし人口は2001年以降で考えるものとする。

1. オーストラリアの人口は1,000万人規模であり、その10～15%程度が他国の生まれである。
2. オーストラリアの人口は1,000万人規模であり、その20～25%程度が他国の生まれである。
3. オーストラリアの人口は1,000万人規模であり、その30～35%程度が他国の生まれである。
4. オーストラリアの人口は2,000万人規模であり、その10～15%程度が他国の生まれである。
5. オーストラリアの人口は2,000万人規模であり、その20～25%程度が他国の生まれである。
6. オーストラリアの人口は2,000万人規模であり、その30～35%程度が他国の生まれである。
7. オーストラリアの人口は3,000万人規模であり、その10～15%程度が他国の生まれである。
8. オーストラリアの人口は3,000万人規模であり、その20～25%程度が他国の生まれである。
9. オーストラリアの人口は3,000万人規模であり、その30～35%程度が他国の生まれである。

Ⅲ 次の文章は、フランスについて述べたものである。この文章を読んで、以下の問19～問32に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

フランス共和国は、ヨーロッパ大陸西部に位置し、コルシカ島を含むフランス本国の面積は、約55万平方キロメートルあり、日本の国土の約1.5倍の面積である。その人口は、海外県等も含めると約6,200万人で、日本の人口のほぼ半分である。これらの人口の中には、移民も含まれており、移民の中にはマグレヴ3国の出身者が多い。国土の特徴としては、図1にあるように、国全体が「六角形」の形をなし、北西と西の辺は大西洋に、南東は地中海に面し、東の辺はアルプス山脈やジュラ山脈によって、南西の辺はピレネー山脈によって隣国との国境地帯を形成している。

地形は、一部の山岳地域を除けば、平野や丘陵地帯が卓越し、河川の勾配は緩やかで、河川や運河による河川交通が発達している。気候は一般に温暖であるが、地中海に面した地域と大西洋に面した地域では気候が異なり、山岳地域では高山気候も見られる。また、地域毎に植生における違いなどにより異なる景観が見られ、さらに、歴史的背景や言語・習慣などにおける相違もあって、国内各地には多様で独自の地域の特徴を持った町や村が今でも存在している。

フランスの産業については、ヨーロッパ随一の農業国であり、農産物の輸出国でもあるが、同時に、先進的な工業国でもあり、従来型の工業と並んで、航空宇宙産業や原子力関連産業、医薬製薬産業など、世界的に見ても高い競争力を持つ先端産業がある。また、第2次世界大戦後、急速に都市化が進展し、農山村では過疎化も見られたが、極端な都市化による全国一律化は進まず、地方都市を中心として、その地域の歴史的文化的特徴を維持し継承するところが少なくない。また、観光産業が発達し、フランスを訪れる観光客の数は、年間7,600万人にも及び、その数はヨーロッパ最大である。

今日のフランスは中世以来の歴史的経緯の中で形作られてきたものであり、その変化が、西ヨーロッパ全体の歴史的形成とも深く関わってきたことは、フランスの地理的特徴を理解する上で重要である。

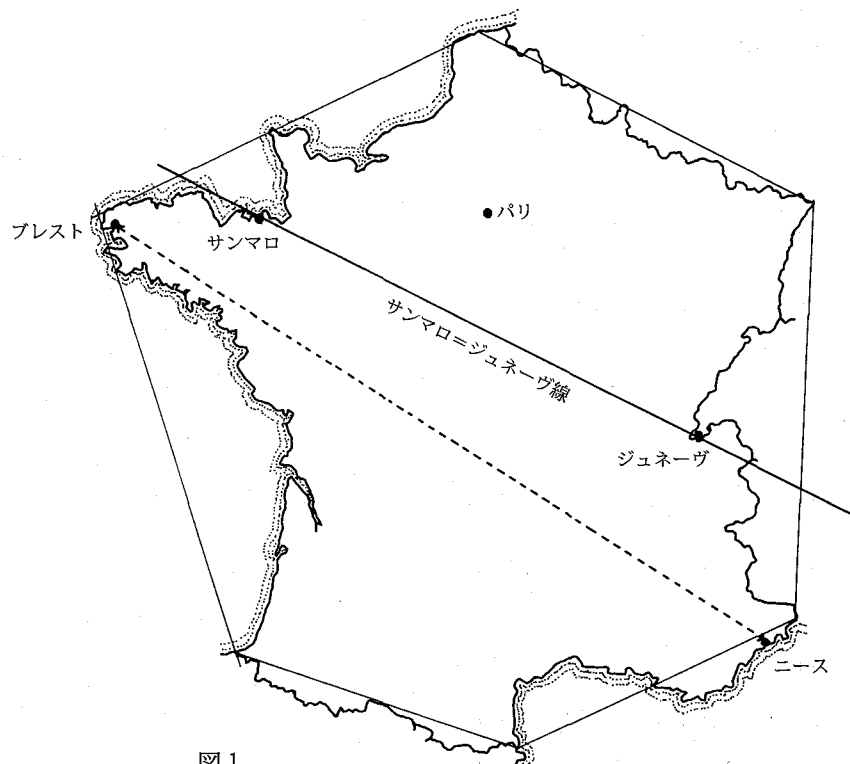


図1

問19 下線（1）に関連して、フランスの首都パリの緯度に最も近い緯度に位置する東アジアの都市として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1. ウラジオストク | 2. ウランバートル | 3. 札幌 |
| 4. 西安 | 5. 北京 | |

問20 下線（2）に関連して、海外県のひとつであるレユニオン県が存在する海洋として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. インド洋 | 2. カリブ海 | 3. 大西洋 |
| 4. 太平洋 | 5. 地中海 | |

問21 下線（2）に関連して、マグレヴ3国を示す国の名称の組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|------------|--------|-------|
| 1. アルジェリア, | セネガル, | モロッコ |
| 2. アルジェリア, | チュニジア, | モロッコ |
| 3. アルジェリア, | セネガル, | チュニジア |
| 4. セネガル, | チュニジア, | モロッコ |

問22 下線（3）に関連して、文中に述べられている「六角形」の対角線の内、最長のものは、図1の点線で示されている、プレストからニースを結ぶ線である。この距離に最も近似するものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. 東京から大阪までの距離
2. 東京から鹿児島までの距離
3. 東京から上海までの距離
4. 東京から香港までの距離
5. 東京からシンガポールまでの距離

問23 下線（4）に関連して、パリ盆地の地形的特徴の一つに「ケスタ」があるが、この地形に対する説明として、最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. 河川の流路に沿って発達する階段状の地形
2. 洪水の時に流路に沿う一帯が浸水することによってつくられる起伏の小さな地形
3. 更新世に堆積した地層からなる台地地形
4. 一方が急崖を、他方が緩斜面をなす非対称形の丘陵地形
5. 長い間の侵食によって侵食基準面付近まで侵食されたほぼ平坦な平原地形

問24 下線（５）に関連して、次の記述に該当する河川の名称として最も適切なものを、以下の中から１つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

『中央山塊に源を発し、北流を続けた後、オルレアネ地方に入ると西に転じ、歴史的に由緒のある都市を通過しながら、ビスケー湾に注いでいる。』

- | | | |
|----------|------------|---------|
| 1. ガロンヌ川 | 2. ドルドーニュ川 | 3. マルヌ川 |
| 4. ローヌ川 | 5. ロワール川 | |

問25 下線（６）に関連して、次の３つ都市のそれぞれの気候を表す気候区の記号の組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から１つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

都市名 (1) ボルドー (2) モンペリエ (3) ルアーヴル

- | |
|-------------------------------------|
| 1. (1) Cfb (2) Cfb (3) Cs |
| 2. (1) Cfb (2) Cs (3) Cfb |
| 3. (1) Cs (2) Cfb (3) Cfb |
| 4. (1) Cfb (2) Cs (3) Cs |
| 5. (1) Cs (2) Cfb (3) Cs |
| 6. (1) Cs (2) Cs (3) Cfb |

問26 下線（７）に関連して、フランスの地域ごとの植生上の特徴を表す組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から１つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. ブルターニュ地方のブナ・カシ、アルプス山岳地方のトウヒ・モミ、地中海沿岸地方のオリーブ・マキ
2. ブルターニュ地方のブナ・カシ、アルプス山岳地方のオリーブ・マキ、地中海沿岸地方のトウヒ・モミ
3. ブルターニュ地方のトウヒ・モミ、アルプス山岳地方のブナ・カシ、地中海沿岸地方のオリーブ・マキ
4. ブルターニュ地方のトウヒ・モミ、アルプス山岳地方のオリーブ・マキ、地中海沿岸地方のブナ・カシ
5. ブルターニュ地方のオリーブ・マキ、アルプス山岳地方のブナ・カシ、地中海沿岸地方のトウヒ・モミ
6. ブルターニュ地方のオリーブ・マキ、アルプス山岳地方のトウヒ・モミ、地中海沿岸地方のブナ・カシ

問27 下線(8)に関連して、フランスは穀物の自給率が高く、EU 各国や日本へ輸出をしている国であるが、穀物の自給率は国によって大きく異なる。イタリア、オランダ、ドイツの3カ国の穀物の自給率について、その高い順から列挙した組み合わせとして最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

(穀物自給率の高い国から順に)

1. イタリア > オランダ > ドイツ
2. イタリア > ドイツ > オランダ
3. オランダ > イタリア > ドイツ
4. オランダ > ドイツ > イタリア
5. ドイツ > イタリア > オランダ
6. ドイツ > オランダ > イタリア

問28 下線(9)に関連して、次の記述に該当する工業都市として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

『ロレーヌ地方の中心都市で、マルヌ＝ライン運河沿いに位置し、付近から鉄鉱石が産出するという立地条件のもとに、早くから鉄鋼・機械工業が発達してきた。また、「ガラスの詩人」と呼ばれた、アール・ヌーボーのガラス工芸家エミール・ガレがその工場を設立し、創作の拠点としたことでも知られる。』

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. ディジョン | 2. ナンシー | 3. ブザンソン |
| 4. リモージュ | 5. リール | |

問29 下線(10)に関連して、航空機産業の拠点都市として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|-----------|-----------|--------|
| 1. グルノーブル | 2. トゥールーズ | 3. ナント |
| 4. ルアン | 5. レンヌ | |

問30 下線(11)に関連して、次の記述に該当する地方として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

『この地方は、「地の果ての国」と呼ばれる。古代ケルト語に起源を持つ、この地方固有の言語では、沿岸部を「海の国」、内陸部を「森の国」と呼ぶ。各地には、古代の巨石遺跡が点在していて、ローマ帝国の支配やキリスト教の布教以前の西ヨーロッパの文明を偲ばせる。海の幸の宝庫と言われ、オマール海老や牡蠣は有名である。』

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. アキテーヌ地方 | 2. アルザス地方 | 3. ブルターニュ地方 |
| 4. プロヴァンス地方 | 5. ラングドック地方 | |

問31 下線(12)に関連して、世界遺産に登録されることで観光産業を発展させようという観光振興策は世界中で見受けられるが、フランスの場合、世界遺産に登録されているものの多くは大聖堂(カテドラル)や教会、城塞などである。しかし、中には、歴史的な都市の旧市街地が世界遺産に登録されている事例もある。このように旧市街地が世界遺産として登録され、同時に、ヨーロッパ連合(EU)の議会が置かれている都市として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1. アルル | 2. ストラスブール | 3. マルセイユ |
| 4. モンサンミシエル | 5. リヨン | |

問32 下線(13)に関連して、図1にあるように、北西部のサンマロと、南東部国境に隣接するスイスの都市ジュネーヴを結ぶ線によって区切られ分割される2つの地域には、歴史、地理、文化において対照的な相違が存在している、という説が19世紀に唱えられた。このサンマロ＝ジュネーヴ線によって区分された2つの地域を比較した記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を所定の解答欄に記入しなさい。

1. サンマロ＝ジュネーヴ線の北東側の地域は、歴史的にはローマ法の影響を残しており、早くから産業革命による工業化が進展した地域である。これに対して、南西側の地域は、ゲルマン法の影響を受け、北東側に比べて工業化も遅れて行われた。
2. サンマロ＝ジュネーヴ線の北東側の地域は、歴史的にはゲルマン法の影響を残しており、早くから産業革命による工業化が進展した地域である。これに対して、南西側の地域は、ローマ法の影響を受け、北東側に比べて工業化も遅れて行われた。
3. サンマロ＝ジュネーヴ線の南西側の地域は、歴史的にはローマ法の影響を残しており、早くから産業革命による工業化が進展した地域である。これに対して、北東側の地域は、ゲルマン法の影響を受け、南西側に比べて工業化も遅れて行われた。
4. サンマロ＝ジュネーヴ線の南西側の地域は、歴史的にはゲルマン法の影響を残しており、早くから産業革命による工業化が進展した地域である。これに対して、北東側の地域は、ローマ法の影響を受け、南西側に比べて工業化も遅れて行われた。

Ⅳ 次の図2，図3および表1は，世界の自然災害に関する資料である．これらについて，以下の問33～問35に答えなさい．解答は，所定の欄に記入しなさい．

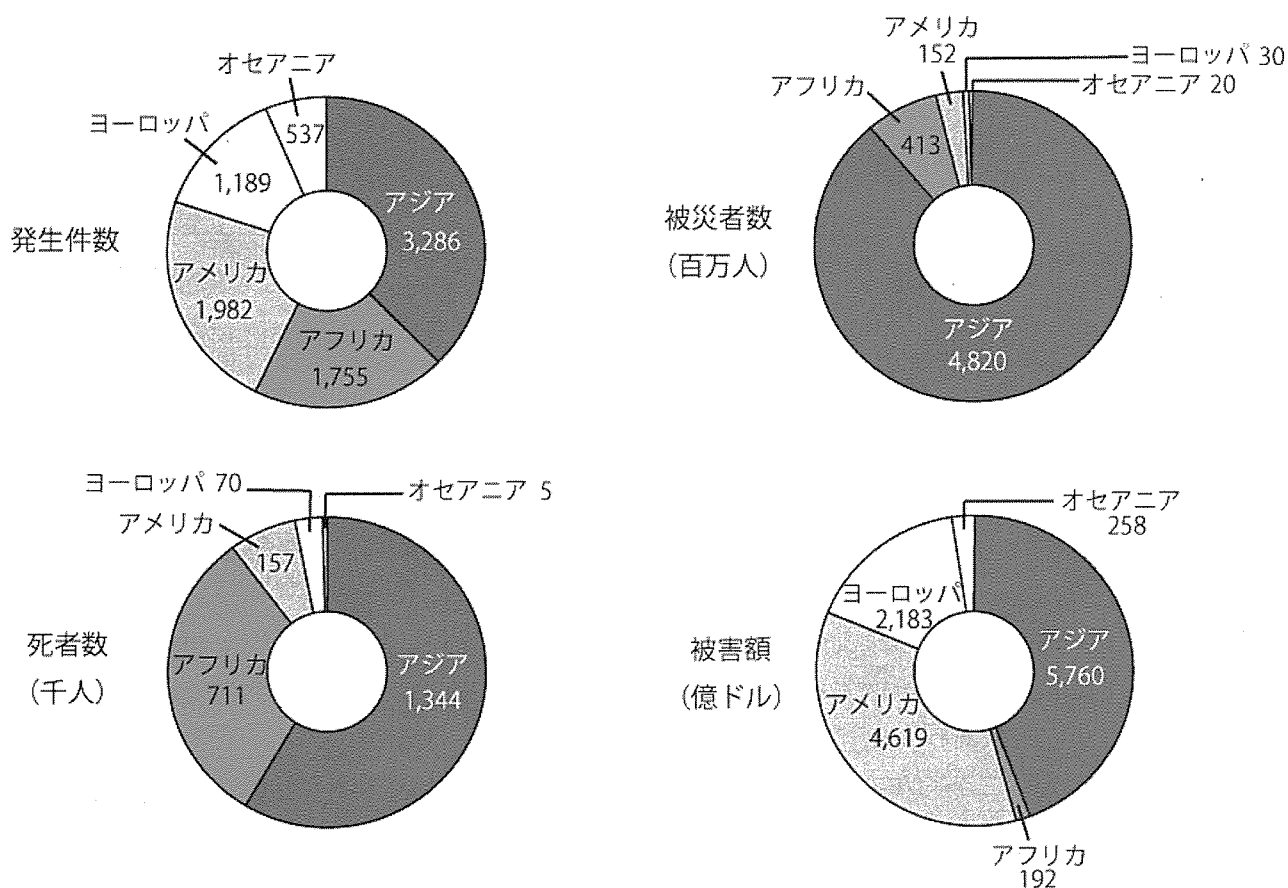


図2 地域別に見た世界の自然災害 (1977～2006年)

『平成20年版 防災白書』に基づいて作成

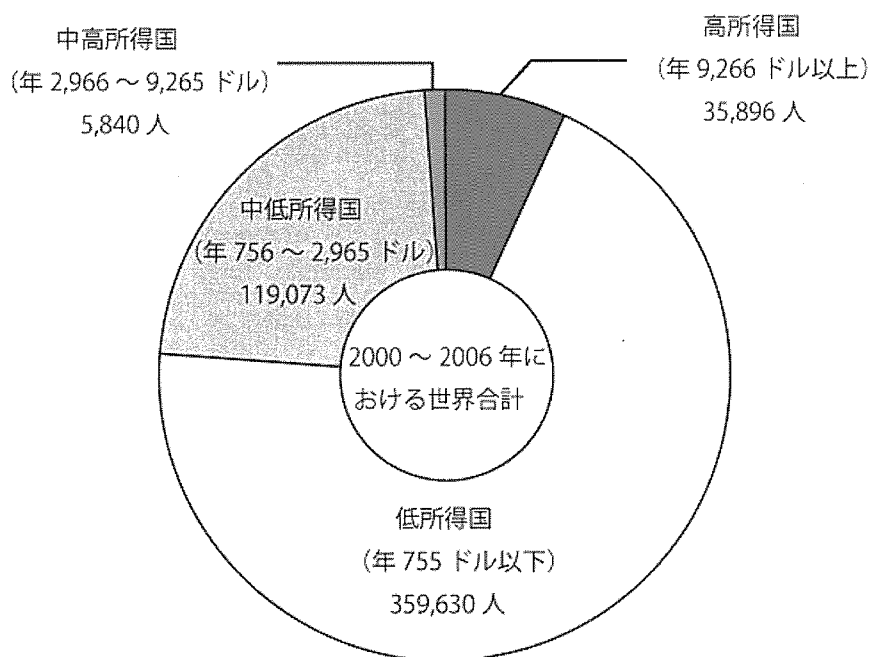


図3 国の1人当たり平均所得別に見た自然災害による死者数

『平成20年版 防災白書』に基づいて作成

表1 2000～2006年における世界の主な自然災害（死者・行方不明者数が特に多いもの）

年	災 害	国・地域名	死者・行方不明者数 (概 数)
2000	洪水	ベネズエラ	30,000
2001	地震	インド	13,805
2001	地震	エルサルバドル	1,159
2003	地震	アルジェリア	2,266
2003	地震	イラン	30,000 以上
2004	洪水	ハイチ	2,665
2004	洪水	インド, バングラデシュ, ネパール	2,000
2004	ハリケーン	アメリカ合衆国, ジャマイカ, プエルトリコ, ハイチ	3,000
2004	地震・津波	スリランカ, インドネシア, モルディブ, インド, タイ, マレーシア, ミャンマー, セイシェル, ソマリア, タンザニア, バングラデシュ, ケニア	229,652
2005	洪水／地すべり	インド	1,503
2005	ハリケーン	アメリカ合衆国	5,336
2005	暴風雨	インド, バングラデシュ	4,049
2005	ハリケーン／洪水	グアテマラ, エルサルバドル, メキシコ, コスタリカ, ニカラグア	1,597
2005	地震	パキスタン, インド, アフガニスタン	74,651
2006	地すべり	フィリピン	1,122
2006	地震／火山噴火	インドネシア	5,778
2006	台風	フィリピン	1,496

『平成20年版 防災白書』に基づいて作成

問33 図2に関して、世界の自然災害を地域別に見たとき、発生件数、死者数、被害額には、それぞれどのような特徴があるか。合わせて75字以内で説明しなさい。ただし、数字の場合は1マスに2つまでとする。

問34 図2から読み取れる死者数の地域分布の特徴は、図3および表1の資料を加えると、どのように解釈することができるか。25字以内で説明しなさい。ただし、数字の場合は1マスに2つまでとする。

問35 表1に関して、2004年に発生した地震・津波災害が、広域にわたって多数の死者を出した理由を100字以内で述べなさい。ただし、数字の場合は1マスに2つまでとする。

V 次の文章は、世界の食糧ならびに鉱物・エネルギー資源の、生産と貿易に関するものである。この文章を読んで、以下の問36～問38に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

1990年代後半以降、世界における食糧と鉱物・エネルギー資源をめぐる情勢に大きな変化が現れている。それらの変化の一つは、世界的規模における食糧や鉱物・エネルギー資源の需給関係が変化してきていることであるが、その原因は、これまでは発展途上国であったような国々や地域が著しい経済成長を遂げ、生産における資源の投入量が増大したことと、経済成長に伴って一人当たりの国民所得も増加し、食糧やエネルギーの消費が拡大している為である。⁽¹⁾ こうした中、食糧や鉱物・エネルギー資源の貿易は、近年ますます増加の傾向を見せている。また、食糧の生産・流通に 利用される石油などのエネルギー投入は増大しており、⁽²⁾食糧価格の高騰と原油高は連動しているものと見られる。

問36 下線（1）に関連して、以下の表2～表4は、農水産物の生産と貿易について、品目別に各国の生産、輸出、輸入の大きな国のうち、世界の中の順位で、上位5カ国を列挙したものである。表中にあるAからFに該当する国名を所定の解答欄に記入しなさい。ただし、既に表中に記されている国名は、AからFの国名には該当しない。また、3つの表を通じて、AからFのそれぞれの国名は共通である。

表2 農水産物の生産高

品 目	単位	年	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
米	トン	2006	A	B	C	バングラデシュ	ベトナム
小麦	トン	2006	A	B	D	ロシア	フランス
とうもろこし	トン	2006	D	A	E	メキシコ	B
大豆	トン	2006	D	E	アルゼンチン	A	B
茶	トン	2006	A	B	スリランカ	ケニア	トルコ
コーヒー豆	トン	2006	E	ベトナム	コロンビア	C	メキシコ
砂糖	トン	2006	E	B	A	D	ロシア
牛肉	トン	2006	D	E	A	アルゼンチン	オーストラリア
水産漁獲量	トン	2005	A	ペルー	D	チリ	C

『2008 (Vol. 20) データブック・オブ・ザ・ワールド』に基づいて作成

表3 農水産物の貿易（輸出）

品 目	単位	年	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
米	トン	2005	タイ	B	D	パキスタン	ベトナム
小麦	トン	2005	D	フランス	カナダ	オーストラリア	アルゼンチン
とうもろこし	トン	2005	D	アルゼンチン	A	フランス	ウクライナ
水産物	ドル	2005	A	ノルウェー	タイ	D	デンマーク

『2008 (Vol. 20) データブック・オブ・ザ・ワールド』に基づいて作成

表4 農水産物の貿易（輸入）

品 目	単位	年	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
米	トン	2005	ナイジェリア	イラン	エチオピア	サウジアラビア	セネガル
小麦	トン	2005	スペイン	エジプト	イタリア	アルジェリア	F
とうもろこし	トン	2005	F	韓国	メキシコ	エジプト	A
水産物	ドル	2005	F	D	スペイン	フランス	イタリア

『2008 (Vol. 20) データブック・オブ・ザ・ワールド』に基づいて作成

問37 下線（1）に関連して、以下の世界の鉱物・エネルギー資源の生産と貿易に関する文章の空欄 P から U に入る最も適切な国名を、それぞれ所定の解答欄に記入しなさい。なお、空欄 P から U には問36の A から F の国名が該当する場合もある。

2004年の統計を見ると、天然ガスの埋蔵量では世界一の P は、サウジアラビアに次いで世界第二の原油産出国である。これらの両国はまた、原油の輸出においても世界第一、二の輸出国である。原油の貿易において、世界最大の原油輸入国は Q であり、世界の原油貿易量の約25%を輸入している。原油の消費量と言う点からみると、Q に次いで世界第二の原油消費国は、R であり、1980年から2004年までの期間に、消費量は3倍以上に増加している。

鉄鉱石の輸出では、S と T が卓越しているが、T は又、石炭の輸出においても突出している。また、近年、世界各国が獲得を目指している希少金属（レアメタル）についてみると、地理的に偏在しており、特にアフリカ大陸諸国にはこうしたレアメタルを多く埋蔵しているところが少なくない。コバルト鉱石の産出量が世界第一の U は、そのような事例の一つである。

問38 下線（2）に関連して、原油価格が上昇すると、これまでは採算性の面から生産されてこなかったような燃料の生産が行われるようになる。特に食糧の一部がこうした燃料の生産に差し向けられると、食糧の価格も上昇することになる。このような穀物を利用した燃料の生産の幾つかの典型的事例の中から、その1例について、① 利用される穀物名、② 生産される燃料名、そして、③ それが行われている国名を、それぞれ所定の解答欄に記入しなさい。

Ⅵ 消費活動に関連して、以下の問39と問40に答えなさい。解答は、所定の欄に記入しなさい。

問39 人々の買い物の対象は、商品の性格や需要頻度によって最寄り品と買い回り品の2つに分けることができる。それぞれについて、商品の事例を挙げつつ25字以内で説明しなさい。最寄り品については解答欄（ア）に、買い回り品については解答欄（イ）に記入しなさい。ただし数字の場合は1マスに2つまでとする。

問40 近年、我が国では、郊外のショッピングセンターの立地が進む一方で、かつてからある商店街の地位が低下してきている。そのような変化の理由として考えられる要因について、消費者の行動、消費のための移動手段、小売りの業態の違いによる経済性の差異などの側面から論じなさい。解答は、所定の解答欄に100字以内で記入しなさい。ただし数字の場合は1マスに2つまでとする。